
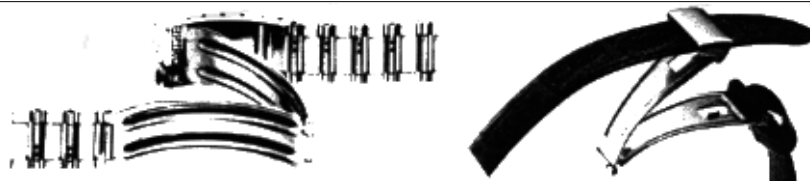









バンドについて

メタルバンドについて

① 中留構造

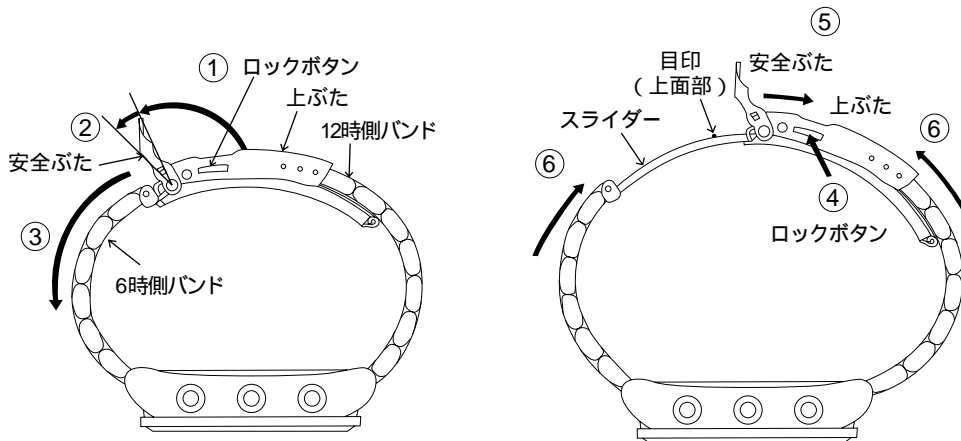
記号	方式	
㉓	ニツ折方式 (通常中留)	
㉔	三ツ折方式	
㉕	両開き方式 (観音開き方式)	
㉖	スライド方式	
㉗	バネフック方式	
㉘	引き輪方式	
㉙	ワンプッシュ方式	
㉚	ダイバーアジャスター方式	
㉛	ダイバーエクステンダー方式	

《ダイバーアジャスターの使い方》

㊦のマークが表示されている商品が対象です。

ウエットスーツの上からウオッチを着用する際、大変便利です。

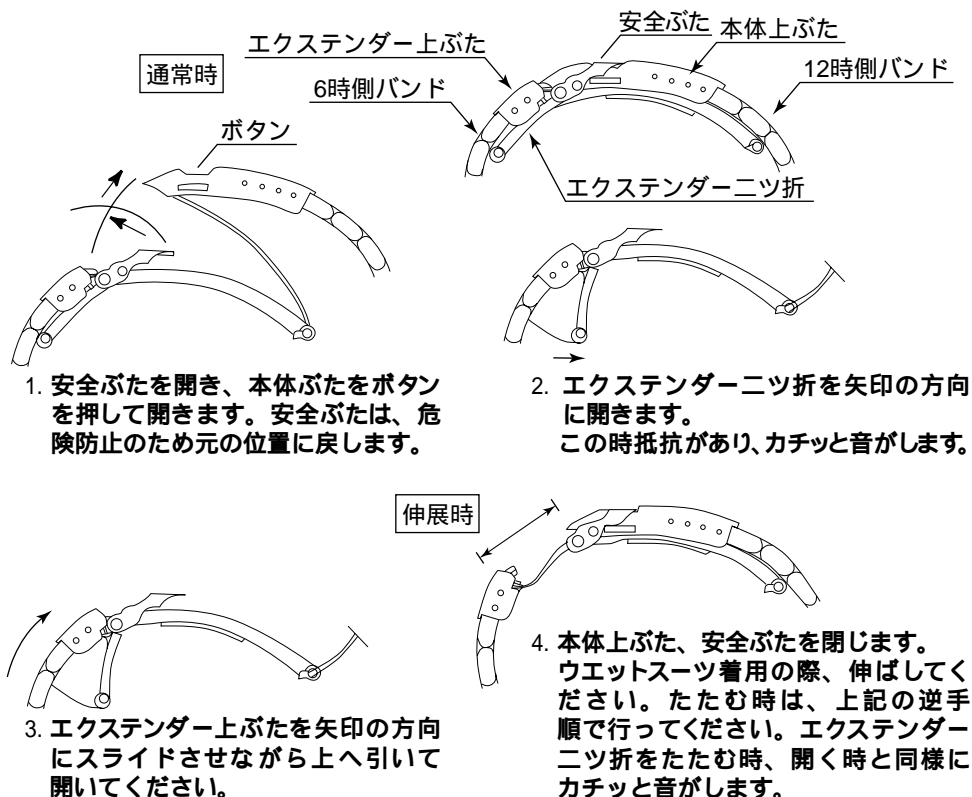
- ①安全ぶたを90度程度に起こします。
- ②安全ぶたをさらに20度程度倒します。多少抵抗がありますが、軽い力で倒れますので力を入れ過ぎないようにご注意ください。
- ③②の動作の後、6時側のバンドをバンドカーブに沿う方向に（曲線を描くように）引きます。この際も軽い力で引けますので、力を入れ過ぎないようにしてください。スライダーは約30mm伸びますが、上面の「目印」以上には引き出さないようにご注意ください。
- ④矢印のロックボタンを押してから、上ぶたを持ち上げ、バックルを開放します。この状態で手首につけてください。
- ⑤手首についたら上ぶた、安全ぶたの順に閉じてください。
- ⑥時計をつけていない方の手で、バンドを適当なところまで締めてください。



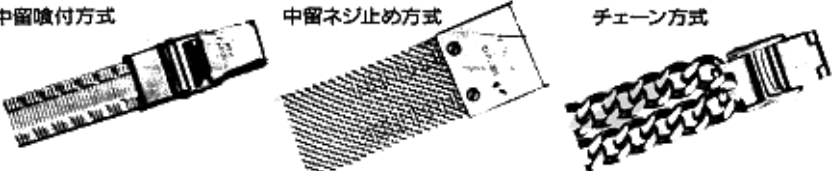
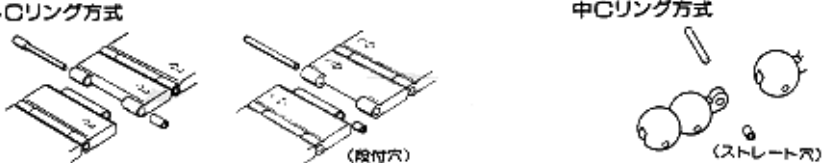
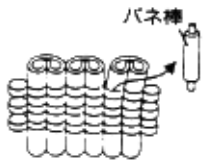
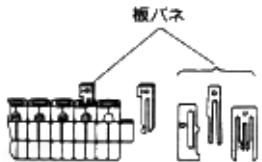

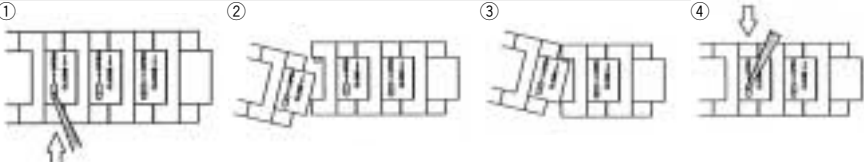


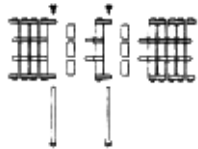


《ダイバーエクステンダーの使い方》

㊧のマークが表示されている商品が対象です。

ウエットスーツの上からウオッチを着用する際、大変便利です。



② バンドアジャスト方式

類別コード	方式	
A	カット方式	<p>中留噴付方式 中留ネジ止め方式 チェーン方式</p> 
C	Cリング方式	<p>外Cリング方式 中Cリング方式</p> 
D	バネ棒方式	<p>バネ棒</p> 
E	板バネ方式	<p>板バネ</p> 
F	ネジ方式	
G	板バネスライド方式	<p>① ② ③ ④</p> 
H	中駒方式	<p>外駒 ナカ駒</p> 
I	ピン方式	<p>曲りピン方式 曲りピン ヘアピン方式 ヘアピン くびれピン方式 くびれピン</p> 
J	ネジピン方式	
L	スライド方式	<p>上ぶた スライド面 バンド</p> 
P	パイプ方式	<p>バンド固定ピン パイプリング</p> 

類別コード	方式	
S	S字方式	
V	エバー方式	
不可		バンドアジャストはできません。

③ メタルバンドと汚れ

メタルバンドで腕が黒くなったり、ワイシャツなど衣類の袖口が黄色く汚れたりすることがあります。バンドは肌着類と同様に直接肌に接していますので、汗やホコリなどで汚れます。

また、金属と金属のすれ合いによって目に見えない金属微粉も出ています。

これらの汚れをそのまま放置しておきますと、汗をかいた時などに、この汚れが毛細管現象で表面にしみ出し、腕を汚したり、あるいはこの汚れがサビを生じさせ、ワイシャツなど衣類の袖口を黄色く汚したり、皮膚の弱い人やアレルギー体質の人はかぶれを起こすこともあります。

時計は、通常1日10時間前後は腕に着けられているため、バンドも苛酷な使用条件にさらされています。従って、人が風呂に入ったり、衣類は洗濯したりするように、バンドも定期的に洗浄し、バンドの隙間にある汚れを除去し、常に清潔にしておくことが必要です。

日常の手入れとしては、柔らかい歯ブラシを使って部分洗いした後、吸湿性の良い布で拭き取るとよいでしょう。(非防水時計の場合は、時計本体に水がかからないようご注意ください)

バンドの記号表示について

① 皮革バンドの記号表示

記号	材質
B	豚皮革(ピッグ)
CA	牛皮革(カーフ)
CR	ワニ皮革(クロコダイル)
W	ワニ皮革(サイドワニ)
G	合成皮革
H	羊皮革
L	トカゲ皮革
N	ナイロン
O	ダチョウ皮革(オーストリッチ)
P	ポリエステル
PN	ネオプレン+ナイロン

② レジンバンドの記号表示

記号	材質
S	シリコン
U	ポリウレタン

アクアフリーバンドについて

革バンドの耐水性一覧表

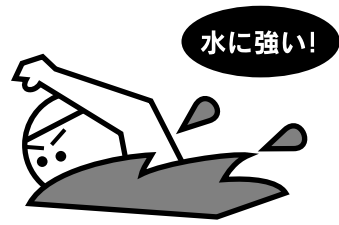
革バンドの耐水性には、以下のような違いがあります。

種類		一般革バンド	アクアフリー1種	アクアフリー2種
使用例	日常生活で水がかかる。 (洗顔・雨にぬれる等)	×		
	水仕事に使用できる。 (農水産・園芸・ガソリンスタンド等)	×		
	水泳に使用できる。 (ヨット・ボート等) 1	×	×	
日常のお手入れ	乾いた布で拭く			
	おしぼりで拭く 2	×		
	真水でさっと洗う 3	×		
	石鹸を使って洗う 4	×	×	
表記	バンド裏面	表示なし	AQUA FREE-1	AQUA FREE-2
	プライスタグ等	表示なし	アクアフリー	

- 1 バンドには天然素材を使用していますので、ダイビングや水上スキーなど水圧がかかる場合はご使用にならないでください。
- 2 市販のウェットティッシュの類にはアルコールを含むものがありますので、使用しないようお客様にご注意ください。
- 3 ぬれたあとは、乾いた布などで拭いて陰干しをしてください。ぬれたままご使用しますと色落ちする場合がありますのでご注意ください。
- 4 洗剤は洗顔用の石鹸を少量使用する程度なら問題ありません。
強力な洗剤を用いますと、革の被膜や接着部分を傷めるおそれがありますので、中性洗剤などは使用しないようお客様にご説明ください。
アルコールなどの薬品は絶対に使用しないようにご説明ください。

アクアフリー2種の優れた特性

一見、普通の革バンドでありながら、腕につけたまま泳ぐ事もできる「水に強い」画期的な革バンドです。



1. いつも清潔にしておくことができます。
2. カビの発生や臭いを防ぐことができます。
3. 暑い季節でも不快なべとつきなしに気持ちよくご使用いただけます。

セイコー独自の新技术(素材・構造及び加工処理)を採用したアクアフリーバンドは、以下の点で優れています。

性能	吸水性	吸水率が小さい為、長時間「水」に浸してもべとつきが少ない。
	強度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 型崩れしにくい。 2. 強く引っ張っても切れる心配が少ない。 3. 長時間水に浸しても剥がれる心配がない。
	色落ち	水や汗に浸しても、色が落ちたりタオルやシャツに色が付く心配が少ない。

皮革バンドの裏材について

SEIKOの皮革バンドの裏材には、SEKマーク を取得した抗菌防臭加工されたテグラン材を使用しています。

- SEKマーク (右図)
- ・ 繊維製品衛生加工協議会の基準をパスした製品のみに表示が許諾された、抗菌防臭加工の品質と安全性を保証する信頼のマークです。

- マークが保証すること
1. 抗菌防臭効果
 2. 効果の耐久性 (耐洗濯性)
 3. 加工の安全性



繊維製品衛生加工協議会
承認番号 10X95 ゼオライト

抗菌防臭加工
(繊維上の菌の増殖を抑制し防臭効果を示します。)

テグラン